

令和7年度 ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズを決定しました

兵庫県では、11月を『ワーク・ライフ・バランス推進月間』としています。

その取組の一環として、「多様な人材が活躍できるワーク・ライフ・バランスの実現」をテーマに募集したところ、2,513作品（一般の部 619作品、学生の部 1,894作品）の応募があり、審査の結果、次のとおり受賞作品を決定しました。

受賞作品は、今後、ひょうご仕事と生活センターの情報誌や啓発用カレンダー等に掲載するなど、ワーク・ライフ・バランスの普及促進に活用していきます。

1 受賞作品

（一般の部）

受賞名	氏名・住所地等（敬称略）	キャッチフレーズ
兵庫県雇用対策 三者会議賞 （グランプリ）	あかそべ ちなみ 赤曾部 千陽 朝来市 （商工会）	一人ひとりの“らしさ”が、組織の“つよさ”に変わる 〔作者コメント〕 個性や多様な価値観が組織の力になるというダイバーシティ経営の本質を表現しています。個人の尊重と組織の成長が両立するというメッセージです。
兵庫労働局長賞 ・働き方改革賞 （準グランプリ）	のさか あゆ 野阪 愛由 姫路市 （株式会社 ZAPPA【WLB 認定企業】）	選べる働き方が、選ばれる会社をつくる 〔作者コメント〕 実際に弊社は、時短制度を導入し、働く事決めてくれた社員がいる。またライフスタイルに合わせて、パートから時短社員にスキルアップする社員も現れてきた。
ひょうご仕事と生活センター長賞 （佳作）	にき あや 仁木 亜弥 西宮市 （大学非常勤講師）	推し事と両立できるお仕事を 〔作者コメント〕 家族・好きなもの・心の支え。それら“推し”と向き合う“推し事時間”の充実が、“お仕事時間”の充実には不可欠です。だからこそ、推し事と両立できるお仕事が増えるよう想いを込めました。

（学生の部）

受賞名	氏名・住所地等（敬称略）	キャッチフレーズ
兵庫県雇用対策 三者会議賞 （グランプリ）	さとう はると 佐藤 晴斗 西宮市 （高校生）	働き方 見直す勇気が 未来を変える 〔作者コメント〕 改革の第一歩は「気づき」と「勇気」から始まる、というメッセージ。
兵庫労働局長賞 ・働き方改革賞 （準グランプリ）	につた しゅんだい 新田 隼大 西宮市 （高校生）	自分の時間を大切に 人の時間も大切に 〔作者コメント〕 自分の時間を大切にするように、周りの人の時間も大切に考えられるようにならないといけないと思う。
ひょうご仕事と生活センター長賞 （佳作）	まつもと さおり 松本 紗音璃 加古川市 （高校生）	休んでいい 心の余裕が 質を高める 〔作者コメント〕 ずっと働いていてばかりだと、休めずに集中力が低下していくだけなので、適度に休んだ方がいい。

2 表彰式

令和7年12月1日（月）に兵庫県中央労働センターで開催する「ワーク・ライフ・バランスフェスタ」において実施します。

【参考】募集状況

- ・応募資格 兵庫県在住、在勤、在学の方
 - ・募集期間 令和7年5月12日～7月25日
 - ・募集テーマ 「多様な人材が活躍できるワーク・ライフ・バランスの実現」
 - ・副賞
 - ◆兵庫県雇用対策三者会議賞（グランプリ）：3万円
 - ◆兵庫労働局長賞・働き方改革賞（準グランプリ）：1万円
 - ◆ひょうご仕事と生活センター長賞（佳作）：5千円
- ※入賞者が高校生以下の場合は、同額の図書カードを進呈。
- ・応募数 2,513 作品（一般の部 619 作品、学生の部 1,894 作品）※1 人 3 作品まで
 - ・主催 連合兵庫、兵庫県経営者協会、兵庫県、兵庫労働局、
（公財）兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センター